

しえかん広報

(資源エネルギー環境広報)

令和2年1月号 (2020.1.10発行)



しえかん広報は、北海道経済産業局HPにも掲載しております。
HPではバックナンバーもご覧いただけます。
<https://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/kankoho/index.htm>



【お問合せは】北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室
TEL:011-709-2311(内線:2634) E-mail:hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp

令和元年度補正・令和2年度当初 資源・エネルギー関係予算案をご紹介します

12月13日に令和元年度の補正予算、12月20日に令和2年度の当初予算案の概要が公表されました。補正予算では「台風災害を踏まえた防災減災、国土強靱化の推進」、当初予算では「エネルギー転換・脱炭素化の推進」や「エネルギー供給網の強靱化」を進めていきます。今月号では、資源・エネルギー関係の主な事業をご紹介します。
エネルギー対策特別会計(経産省分)【令和2年度当初予算 7,481億円(+令和元年度補正予算 635億円)】 ※前年度当初予算 7,230億円

- 詳細はこちらから → ①補正予算: https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2019/hosei/index.html ②当初予算: https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2020/pr/energy.html

◆災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金【補正39.0億円、当初48.5億円】

災害時においても、公共施設や商業施設等の避難所や多数の避難者が発生する社会的重要なインフラの機能を維持するため、自家発電設備等を稼働させるための燃料を自衛的に備蓄できるよう、LPガスタンク、石油タンク、自家発電設備の導入を支援します。
(令和元年度補正予算では、生活必需品等を扱う事業所も対象になります。)

【補助率】中小企業:2/3、その他:1/2等

◆石油製品安定供給確保支援事業(補正)

◆災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費補助金(当初)【補正170.0億円、当初30.3億円】

自家発電設備を備え、災害時に地域住民の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」の整備を推進するため、自家発電設備の導入を支援します。
(令和2年度当初予算では、SSにおける石油製品の十分な在庫量を確保するための地下タンクの入換・大型化等の支援も実施します。)

【補助率】自家発電設備の導入:10/10

◆災害時における生活環境の確保に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金(補正)

◆社会経済活動の維持に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金(当初)【補正19.0億円、当初43.0億円】

災害時にも対応可能な、以下の天然ガス利用設備の導入を支援します。

【対象】補正: 低圧ガス導管でガス供給を受けている避難所や防災上中核となる施設等
当初: 中圧ガス導管等でガス供給を受けている病院・ビル・工場等

【設備】補正: ガスコージェネレーションシステム、GHP、燃料電池
当初: ガスコージェネレーションシステム

【補助率】中小企業等:2/3、その他:1/2等

◆天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金【当初7.0億円】

災害時にも対応可能な、以下の天然ガス利用設備の導入及び機能維持・強化を支援します。

【対象】中圧ガス導管等でガス供給を受けている病院・ビル・工場・天然ガスステーション等

【設備】災害時にも対応可能なボイラ、冷温水機、コンプレッサー等

【補助率】導入:1/3、天然ガスステーションの機能維持・強化:1/2 (ウラ面へ続く)

資源・エネルギー関係予算案（続き）

- ◆生産設備におけるエネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金(補正A)
- ◆ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを活用したレジリエンス強化事業費補助金(補正B)
- ◆省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(当初)

【補正A 50.0億円、補正B 20.0億円、当初459.5億円】

工場・事業場、住宅、ビルにおける省エネ関連投資を促進し、徹底した省エネを推進します。

①工場等における省エネルギー設備への入替支援(補正、当初)

補正)従来の事業(設備単位)では対象外としていたレーザー加工機等、生産性・省エネ性能の高い特定の生産設備を対象に支援。【補助率:1/3以内】

当初)対象設備を限定しない「工場・事業場単位」及び申請手続きが簡易な「設備単位」の高度な省エネ取組を重点的に支援。【補助率:1/2、1/3、1/4】

②コミュニティZEHによるレジリエンス強化事業、ZEH+R強化事業(補正)

③ZEH、ZEB、次世代省エネ建材の実証支援(当初)

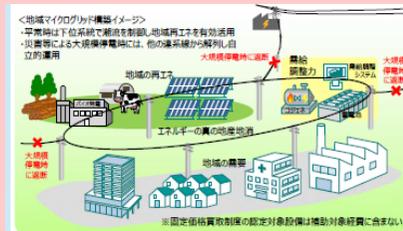
※ZEH:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル
ZEB:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル



◆地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金【当初17.3億円】

地域の再生可能エネルギーと蓄電池等の調整力、系統線を活用して、電力を面的に利用する新たなエネルギーシステム「地域マイクログリッド」の構築を支援します。

- (1)「地域マイクログリッド」を構築しようとする民間事業者等(地方公共団体との共同申請)に対し、必要な費用を支援。【補助率:2/3以内】
- (2)「地域マイクログリッド」構築に向けた「マスタープラン」の作成に対し、必要な費用を支援。【補助率:3/4以内】



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も皆さまに読んでいただけるような「しえかん広報」を目指し、精進してまいります。

さて、北海道の年末年始と言えば、大晦日から食べ始めるおせちやご馳走の数々、とお酒ですね！私も実家でせつせと飲んでいましたが、うちの家族はみんな下戸なので、毎晩一人で赤ら顔でした。去年は一人居酒屋デビューを果たしましたが、まだまだ行けるお店は少ないので、今年はもっと「お一人様」を楽しめるよう、メンタルを鍛えていきたいと思えます。以上、今年の抱負でした(笑) (米谷)

「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型説明会 in 室蘭」参加者募集中

原子力発電環境整備機構(NUMO)は、経済産業省資源エネルギー庁との共催で、高レベル放射性廃棄物の地層処分について理解を深めていただけるよう、全国的な対話活動を実施しています。現在、室蘭開催の参加者を募集中です。

【日時】2020年1月25日(土) 13:30~16:00 ※先着順
【場所】室ガス文化センター 4階大会議室(室蘭市幸町6-23)

※プログラムや参加申込等、詳細はこちらからご覧ください。
<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>



<電力事業課>

スマートクッキング実践講座「Let's省エネ!クリスマスパーティー」を開催しました

北海道経済産業局では、家庭で無理なく取り組める省エネ・節電術や、少しの工夫で省エネ・節電・時短になる「スマートクッキング」をご紹介しますイベントを、12/1(日)に札幌、12/8(日)に函館で開催しました。今後もより多くの皆さまに実践いただけるよう、**当日実演したスマートクッキングレシピを当局HPで公開しています。**



<スマートクッキング実演>



<スマートクッキング実演&実践>



<完成した料理>



<試食の様子>

※スマートクッキングレシピ、イベント結果の詳細は以下のURLをご覧ください。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/20191219/index.htm>



<総合エネルギー広報室>

「エネルギー講演会 in 室蘭工業大学」を開催しました

北海道経済産業局と資源エネルギー庁では、11月7日(木)に室蘭工業大学にてエネルギー講演会を開催しました。2年生の学生63名を対象に、国や北海道のエネルギー政策や今後の課題について講演したほか、学生が参加して蓄電の実験も行い、日本や北海道のエネルギー事情を考える機会となりました。

<講演内容>

- ◆2050年の挑戦 ~資源エネルギー庁 原子力広報室 須山 照子
- ◆北海道のエネルギー概況 ~北海道経済産業局 総合エネルギー広報室 米谷 美枝
- ◆実験 (ライデン瓶を用いた蓄電の実験)

※開催結果は資源エネルギー庁のHPに詳しく掲載されております。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/edu/future_ene/2019/muroran_kogyo.html



<総合エネルギー広報室>